



発行所
〒107-0052
東京都港区赤坂7丁目
5番38号
公益社団法人
日本PTA全国協議会
発行人 後藤 豊郎
電話 03(5545)7151
FAX 03(5545)7152
ホームページアドレス
https://www.nippon-pta.or.jp/

令和5年度新体制発足!

令和5年度定時総会、協議会懇談会、協議会連絡会を開催!



協議会懇談会の様子



協議会連絡会の様子



この二次元コードをスマートフォンなどで読み取っていただきますと、日本PTA全国協議会のホームページにアクセスできます。

企画編集協力
日本教育新聞社

綱領

本会は、教育を本旨とし、特定の政党や宗教に偏ることなく、小学校および中学校におけるPTA活動を通過し、我が国における社会教育および家庭教育の充実に努めるとともに、家庭、学校、地域の連携を深め、子どもたちの健全育成と福祉の増進を図り、もって社会の発展に寄与する。

主な内容

1・2・3面

- 令和5年度新体制発足
○令和5年度定時総会における宣言・決議
○日本PTA75周年を迎えて

4・5・6面

- 広島大会報告紙面1
○広島大会報告紙面2
○広島大会報告紙面3

7面

- 次期開催・川崎大会告知
○日本PTA全国協議会推薦商品について

8面

- 全面広告

お知らせ

本会理事会において、昨年6月21日に本会代表理事(会長)に金田淳氏を選出し、本年6月23日に本年度も引き続き会長とすることを確認しましたが、以下の事由により本会定款に基づき、7月19日の理事会において金田氏の会長の職を解くこととし、新たな会長として、後藤豊郎氏を選定いたしました。

公益法人としてガバナンスを遵守した運営と積極的な情報発信を

6月23日、令和5年度定時総会を、文科省より薬和生副大臣をはじめ、大臣官房審議官・里見朋香氏、総合教育政策局地域学習推進課・黄地吉隆課長を来賓に迎え、全国63協議会の各会長が参加し、TKPガーデンシティPREMIUM品川(東京都港区)にて開催しました。

7月20日には協議会懇談会、翌21日には協議会連絡会をホテル東京ガーデンパレス(東京都文京区)にて開催し、理事会において新会長に後藤豊郎氏が選任されたことが発表され、令和5年度の新体制における事業方針についての発表が行われました。



日本民間教育協議会 会長 安藤 大作 氏

三役会、臨時理事会を経て開催された定時総会では、第1号議案・令和4年度事業報告について、第2号議案・令和4年収支決算について、第3号議案・理事及び幹事の選任について実施されました。

日本PTA全国協議会は、公益社団法人としてガバナンスを遵守した運営と、積極的な情報発信によって、家庭教育及び社会教育の充実に努めることを宣言しました。

令和5年度、公益社団法人日本PTA全国協議会会長を拝命しました後藤豊郎氏です。新型コロナウイルス感染症の世界的流行を経て、世界は大きく変化しました。私たちPTAも大きく変わらなくてはなりません。予測不能な変化が起きている時代に、「社会は誰かに作ってもらったものではなく、自分たちが作っていくもの」という意識を持ち、主体性を尊重しつつ対話による民主的な課題解決によって、みんなで一緒によりよい社会を形成していくことが重要であると考えます。本年6月に閣議決定された教育振興基本計画の中では、「コンセプトとして」持



子ども家庭庁成育局総務課長 齋藤 潔 課長

継続可能な社会の創り手の育成」を迎えます。75年積み重ねた歴史ある活動を継承しつつ、これからの時代に必要と考えを取り入れながら事業を展開していきます。日本PTAは、我が国最大の社会教育関係団体として、令和の日本型学校教育と理念を共有しつつ、主体性を持って全国の会員の皆様とともに子供たちの未来に責任を持つる社会を創るため邁進します。皆様のお力添えを宜しくお願いいたします。

今後、このような異例の事態にならないよう関係者が一丸となって本会運営に当たる覚悟です。この度各位におかれましては、この度の件につきましてご理解をいただき、誠にありがとうございます。今後ともさらなるご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新会長あいさつ



公益社団法人 日本PTA全国協議会 後藤 豊郎 会長

令和5年度、公益社団法人日本PTA全国協議会会長を拝命しました後藤豊郎氏です。新型コロナウイルス感染症の世界的流行を経て、世界は大きく変化しました。私たちPTAも大きく変わらなくてはなりません。予測不能な変化が起きている時代に、「社会は誰かに作ってもらったものではなく、自分たちが作っていくもの」という意識を持ち、主体性を尊重しつつ対話による民主的な課題解決によって、みんなで一緒によりよい社会を形成していくことが重要であると考えます。本年6月に閣議決定された教育振興基本計画の中では、「コンセプトとして」持

本紙は各校PTAに「校長・教頭用」

「PTA会長・役員・広報委員用」

「事務局員用」として配布しています。

令和五年度定時総会 宣言・決議

令和五年度定時総会における宣言・決議

日本PTA全国協議会は、公益法人としてガバナンスを遵守した運営と、積極的な情報発信によって、家庭教育及び社会教育の充実に努めることを宣言し、令和五年度定時総会における決議としました。

宣言

公益社団法人日本PTA全国協議会は、保護者と教職員で構成する日本最大の社会教育関係団体として、国が行う教育改革や子供たちを取り巻く環境整備に関する施策等に対し、積極的に意見・協議を行いながら、教育力の向上及び子供たちの健全育成に寄与してきた。

我々はこれからも、国全体の教育環境をよりよくすることを、教育関係団体や関係諸機関等とともに検証・議論することによって、子供たちの生きる力を醸成し、誇りをもち、夢をもち、将来に希望のもてる社会づくりに貢献していくのが果たすべき役割であり、責務である。

また、公益法人としてガバナンスを遵守した運営と、積極的な情報発信によって、家庭教育及び社会教育の充実に努めるとともに、これまで以上に家庭・学校・地域が連携協力し、子供たちの健全育成と福祉の一層の増進を図り、社会の発展に寄与することが必要である。ここに公益社団法人日本PTA全国協議会としての役割と責任を自覚し、組織の総力を結集し、次の決議の実現に全力で取り組むことを宣言する。

決議

令和五年度定時総会における宣言に基づき、具体的目標として、次の事項を決議する。

- 一、子供たちの教育の原点は家庭にあることを認識し、加えて、学校教育・社会教育についての理解を深め、子供とともに成長し、家庭における教育力の向上を目指す。
- 一、子供たちの教育環境の充実により推進するため、関係府省庁や関係諸機関等との連携・協力を一層密にする。
- 一、子供たちの心身ともに健全な成長を図るため、教育環境や社会環境の変化に対応した教育の改革に主体的に取り組む。
- 一、子供たちを取り巻く様々な課題の解決に努めるとともに、多様性を尊重し、「いのち」の尊さと「人権」の大切さを強く訴える。
- 一、子供たちが自然環境を守り、郷土を親しむ心を培うとともに、国際理解を深め、平和を希求する人の育成を目指す。
- 一、子供たちの安全・安心を社会全体で見守り、より良い生活環境づくりを目指す。災害に対する防災意識の高揚、犯罪等に巻き込まれないメディアリテラシーの醸成など、環境整備への寄与を高める。
- 一、全国組織として、PTAの存在意義を明確にし、新たな時代の要請に応える組織運営のあり方や情報発信など活性化方策を構築し、その普及啓発を進める。

令和五年六月二十三日
公益社団法人日本PTA全国協議会

令和5年度 新役員挨拶

令和5年度、副会長を務めさせていただくことになりました、比嘉里奈です。

副会長の職務は、会長を補佐しこの法人の業務を執行することにあります。そして、同時に、理事としても、定款並びに総会及び理事会の決議を遵守し、この法人のために忠実にその職務を遂行しなければなりません。私は、担当する公益目的事業の表彰事業を通して、日本を代表する社会教育関係団体である本会の本来の在り方を、脈々と引き継いでいきたいと考えております。特に、本年度は創立75周年ですので、記念事業を執り行う中で皆様と75年を振り返り、改めて本会の存在価値を見直す機会とすることも非常に重要であると感じております。

また、法人運営の他、文部科学省やこども家庭庁等の会議等にも参加いたしますので、さらに、知見を得ると共にPTAの保護者の立場から意見を交わし、全国で活躍している女性の保護者の代表となれるような、存在になっていきたいと思っております。



副会長
比嘉 里奈
ひが りな

3年以上続いた新型コロナウイルス感染症への対策は、多くの変化を生活環境と教育環境に与えました。コロナと同時に開始されたイメージのあるGIGAスクール構想というの少し前の印象ですが、その実現へのスピードに驚かされます。

生成AIの利用やデジタル教科書などの新しい取り組みは、将来を担う子供たちに必要な学びとして進められていますが、このことは教育現場にも大きな変化が求められています。それは子供たちや教育現場だけではなく私たち保護者、PTAとして共にそれを学ぶ必要があります。日Pが全国組織であるメリットを生かし協議会の皆様と情報の共有を行い、今何が求められているのかを共に考え活動を進めていきたいと思っております。

私は本年度、公益目的事業2の調査研究を担当します。多くの会員の声を集め、現在の教育の現状を捉えて皆様に発信して情報を共有し、それらを利用してできるように尽力していきたいと思っております。



副会長
中野 吉朗
なかの よしとむ

令和5年度の副会長に就任いたしました宿南です。PTAは、学校と保護者、そして地域社会が一体となって子供たちの成長を支援する重要な組織です。私たちの使命は、子供たちの健やかな成長と幸せな学校生活をサポートすることです。そのためには、意見交換や情報共有が欠かせません。

また、PTAはただ行事を行うだけではなく、教育に対しても積極的な関与が求められています。教育の質を高め、子供たちがよりよい未来を迎えるために、学校と保護者が連携し、共に学び合うことが重要です。

組織の使命と価値を大切に、公益性を重んじ、透明性と公平性を大切に参ります。

さまざまな課題に直面することもあるかと思いますが、困難を乗り越えるためには、皆様のご理解とご協力が不可欠です。これからの時代に求められる新しい価値を創造し、社会の発展に寄与することを目指して、チャレンジを続けて参ります。皆様と共に歩み、社会の課題に対して最善の解決策を見出すために、知恵と情熱を結集して参ります。



副会長
宿南 洋一
しゅくなん よういち

本年度、常務理事に就任いたしました熊谷弘と申します。常務理事として、専務理事の補佐を務めながら当会の法人運営のサポートをして参ります。

各委員会、各協議会が円滑に活動しているように情報共有を図りながら、75周年を迎えた本年度の事業が全てうまく進むように、各委員長と連携しながら理事会とのパイプ役としての役割も果たして参りたいと思っております。

また、専務理事と共に全国大会推進委員会を担当しております。本年度の広島大会では多くの皆様に参加いただき意義ある大会となりました。公益目的事業一番である全国研究大会を充実した事業にするため、また次年度予定されている川崎大会に向けて重要な一年にもなりますので、委員会メンバー一丸となって取り組んで参りたいと思っております。

常務理事として会計責任者という大きな役割もあります。予算管理をしながらしっかりとした運営ができるように、また信頼のおける組織として進化できるように努めて参りますので、皆様方のお力添えを宜しくお願い申し上げます。



常務理事
熊谷 弘
くまがい ひろし

令和5年度、専務理事を務めます吉村昌之です。

専務理事の役目として、定款で「会長及び副会長を補佐し、理事会の決議に基づき、総会の決議した事項及び日常の会務を統括する」と謳われております。

6月の総会時には、多くの協議会代表者の皆様から、ご意見やご要望をいただき、令和4年度の副会長としても深く受け止めております。

会務の責任者として三役会、理事会との連携、議案の整理や常務と会計処理の確認、事務局と会内外の現状と課題の共有など細かく打ち合わせをして参ります。63協議会の皆様、安心してお任せいただける会務として認めていただけるように努力して参ります。宜しくお願いいたします。



専務理事
吉村 昌之
よしむら まさし

令和5年度副会長の松尾和昭です。昨年度理事として、全国各協議会の方々の様々な交流を経験いたしました。その交流の中で多くの学びを得ることができ、日本PTA全国協議会の役割や必要性を肌で感じ、自分の役割を再認識いたしました。

本年度は今までに経験したことを生かし、自分の行動・発言に責任を持ち、組織の一員として努めて参ります。私のモットーは「過去に学び、10年先に必要とされる事を想定し、今やらなければならない事を行動する」。

また本年度の日本PTA全国協議会の公益目的事業であります、国際交流・国内研修事業を担当いたします。この事業は国際社会で活躍できる次代を担う人材育成を目的としております。全国各地より多くの生徒の方々が集結し、研修や体験を通じて有意義な研修となるよう努めて参ります。本年度も昨年同様に多くの方々と交流し、自ら積極的に行動し邁進して参ります。宜しくお願いいたします。



副会長
松尾 和昭
まつお かずあき

日本PTA創立75周年を迎えて

日本PTA創立70周年からのこの5年間は、日PTAにおいても、まさに激動の5年間であったと思います。いま、改めて振り返って見る「2015」の、さまざまな課題が明らかになってきています。その意味においても、今こそ変革の時期を迎えたとも言えるのではないのでしょうか。



創立70周年記念式典において会長あいさつをする東川勝哉会長(当時)



皇太子同妃両殿下(現・天皇皇后両陛下)ご臨席をいただき記念式典が開催された



文部科学省の局長が受託収賄容疑で逮捕されたことを受け、記者団の取材に応じる林芳正文科相(当時)



記者会見で頭を下げる山中伸弥・京大IPS細胞研究所所長(当時)ら



昭和23年(1948年)6月27日、全国PTA協議会結成総会が開催され、日本PTAが全国組織として産声を上げた。

社会的にも波乱のスタートとなった平成30年!

「18歳成人」改正民法について解説する法務省の案内パンフレット

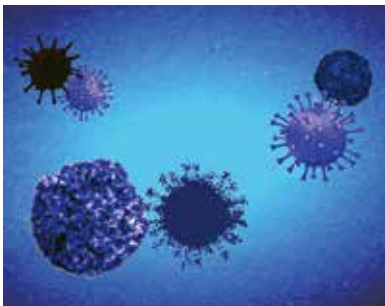
とてより、本年度75周年を迎えました。70周年を迎えた5年前と比較してみると、70周年を迎えた翌年の平成30年(2018年)で



総理大臣官邸で第1回働き方改革フォローアップ会合が開催され、改革について語る安倍総理



子供たちもマスクの着用が義務付けられた



コロナウイルス(COVID-19)

号が令和となり、平成という一つの時代に終止符が打たれましたが、この令和元年(2019年)12月に中国の武漢市で第1例目の感染者が報告されたことにより、わが日本PTA全国協議会の活動も大きく制限されることとなり、会議をオンラインで実施するなど、さまざまな試行錯誤を繰り返して、子供たちのために歩みを止めない」との思いで取り組んできた5年間であったと思います。

令和元年を迎え、世界的パンデミックが襲う

は、国立大入試において出題ミスにより誤って不合格としていたという事件が相次いで発生したり、京都大学iPS細胞研究所で研究論文で捏造などの不正行為が発覚したり、文科省において収賄容疑で幹部2人が逮捕されるなどの事件のほか、「18歳成人」改正民法の成立するなど、社会的にも教育界においても波乱のスタートとなりました。



オンラインによる開催となった「北九州大会」

そのことにより、わが日本PTA全国協議会の活動も大きく制限されることとなり、会議をオンラインで実施するなど、さまざまな試行錯誤を繰り返して、子供たちのために歩みを止めない」との思いで取り組んできた5年間であったと思います。



国内研修もオンラインで実施

これからの課題として国民生活や経済活動維持の観点から、これまでデジタル化が進まなかった領域を含め、デジタル活用が広がることとなった今、更なるオンラインの活用により、PTA活動

活動の機運が高まり、本年には全国から6800人が集い「広島大会」が実施されました。

さらに活発な活動の機運が高まり、本年には全国から6800人が集い「広島大会」が実施されました。

3年ぶりのリアル開催が実現した「山形大会」

そのようなコロナ禍にあっても、伝えるべきことを伝え、日本PTA全国協議会の活動を広く認知させるべくホームページを一新し、また、公益社団法人としての認識を深めるための研修会を実施するなど、活発な活動を推進して参りました。そして、昨年には3年ぶりのリアル開催が実現した全国研究大会「山形大会」を機に、さらに活発な活動の機運が高まり、本年には全国から6800人が集い「広島大会」が実施されました。

子供たちのために歩みを止めない日本PTA



新体制で開催された「広島大会」



3年ぶりのリアル開催が実現した「山形大会」

におけるきめ細かな対応を検討して参ります。75周年を迎えた今、これより80周年に向けて「歩みを止めない」ための議論を尽くし、全国のPTA活動を支え続けることを誓い合いたいと思います。

第71回日本PTA全国研究大会 第53回日本PTA中国ブロック研究大会 広島大会

広島から 全国へ

変化の時代に向け、PTA自身が学びの変革を！
～見つけ 考え かわろうや ぶち楽しいで！！～

8/25(金)26(土)

主催
公益社団法人日本PTA全国協議会、中国ブロックPTA協議会、
広島県PTA連合会

令和5年8月25日(金)・26日(土)の両日にわたり開催された広島大会は、25日は広島県内8会場において分科会が行われました。26日の全体会は広島県立総合体育館の広島グリーンアリーナで全国から6800人が参加して盛大に開催されました。



全国から6800人が参加した全体会



伊藤 孝江氏
文部科学大臣政務官

来賓として文部科学大臣政務官の伊藤孝江氏をはじめ、教育界より多数の来賓を迎えて開催された全体会では、開会あいさつで後藤会長は「変化の時代に私たちPTAが大人の学びとして挑戦し新しい形や価値観を創造していくことが、子供たちにとって生

きる手本となるのではないでしょうかと参加者に呼びかけ、また「一人の100歩よりも100人の一歩」という言葉を紹介し、「着実な歩みを通して、住み良い社会を子供たちに繋いでいくことができるのではないかと訴えました。

引き続き、山本浩司広島大会実行委員長が開会にあたり感謝の意を述べた後、来賓祝辞として登壇された文科省の伊藤孝江政務官からは、「PTAを取り巻く環境が変化する中でオンライン会議の導入、ボランティア制度の導入など、効率的な運営を実施し、PTA活動の充実に取り組みしていると聞いています。このように地域の実情に応じた活動を通じて子供たちの成長を地域全体で支える社会の実現に向けて、引き続き力添えをお願いしたい」との言葉のいただきま

一人の100歩よりも100人の一歩！



大会宣言をする広島県PTA連合会の橋本和博会長



開会にあたり感謝の意を述べる山本浩司実行委員長



開会あいさつをする後藤会長



大会趣旨

昨今に見られる新型コロナウイルス感染症の世界的な流行は、これまで予想だにしないことが身近にあることを思い知らされました。学校では、様々な変更や対応を余儀なくされる一方で「教育の歩みを止めるわけにはいかな」という思いの中で、工夫と柔軟な対応で児童生徒のために力を尽くしています。

その広島での本大会は、これからのPTA活動を「できない」ではなく「できる」とは何かを見つつけ、対策を考え解決していくようにし、どのような状況でも私たちPTAは、家庭教育力をさらに高め、次代を担う子供たちを社会総がかりで育成するために、当事者意識をしっかりと持ち、家庭・学校・地域をつなぐ唯一無二の存在という役割を、改めて再認識する場にしていきます。

家庭教育・学校教育・社会教育を取り巻く現状を踏まえつつ、不確実な激動の未来を生き抜く力「学びの変革」を柱に開催いたします。全国のPTA会員一人一人の考えや価値観、体験を共有し、自分のもので地元に持ち帰っていただくためにも、今までの知識や経験の上に立ちつつ、今後の激変する時代に対応できる、学習力・判断力・実行力を兼ね備えたPTAの創造を、本大会を通して共に考えていきましょう。

学校を取り巻く環境だけでなく、社会全体も大きく変わろうとしています。グローバル化の一層の進展、ICTの急速な進化により、広い範囲で人とモノがつながり、近い将来さまざまな困難な時代となってきています。このような時代を担っていく子供たちは、様々な変化に主体的に向き合うことも、他者と協働しながら価値の創造に挑み、よりのよい社会を形成していく力を身につけていくことが重要です。

広島県では、学校において「生きる力」を合言葉に、自ら課題を発見し解決していく能力の育成が行われていきます。また、家庭・学校・地域が連携したコミュニティ・スクールや、「親力」を高め家庭教育のパワーアップを図る親学、各地での家庭教育支援チームの結成などの取り組みが進んでいます。

- ※「学びの変革」について
- 指した主体的な学びの充実「学びの変革」とは、不確実な激動の未来を生き抜く力
- (1) 課題解決に効果的に活用できる知識・技能
- (2) 課題解決に必要な思考力、判断力、表現力等
- (3) 課題解決を支える人間性、学びに向かう力等

大会宣言

私たちは、日本の未来が子供たちの笑顔に満ちた安心と信頼の社会であることを願い、「変化の時代に向け、PTA自身が学びの変革を！ ～見つけ 考え かわろうや ぶち楽しいで！！」 広島から全国へ！のスローガンのもと、平和を尊ぶ広島に集い、第71回日本PTA全国研究大会広島大会を開催いたしました。

今なお変わり続ける新たな日常に備え、子供も親も自ら課題を発見し、解決していく能力を育むことが大切です。そのため

- ### 決議
- 一、家庭・学校・地域の連携を深めるPTA活動を推進します。
 - 一、学びの変革を推進するPTA活動を推進します。
 - 一、学びを深めるPTA活動を推進します。
 - 一、豊かな心を育むPTA活動を推進します。



広島ジュニアマリンバアンサンブルによる歓迎アトラクション

「広島ジュニアマリンバアンサンブル」による 元気いっぱいの歓迎アトラクション!

開会前の歓迎アトラクションでは、「広島ジュニアマリンバアンサンブル」の地元の子供たちによる表現力豊かな演奏で会場も盛り上がりを見せた後、開会宣言から始まり、後藤会長の挨拶、来賓からのご祝辞をいただき、次の第72回大会開催地、神奈川県川崎市への大会旗の引き継ぎが行われました。

開会行事終了後は、「心のトリセツ ~『逃げ癖』を『意欲』に変える脳科学~」を演題にした、人工知能研究者の黒川伊保子氏による記念講演で参加者には大満足の大会となりました。



広島ジュニアマリンバアンサンブルの子供たちの笑顔が素敵

躍動感あふれる 子供たちの パフォーマンス!

ヒロシマ国際平和文化活動
推進団体の認定を受け、ニュー

ヨークのカーネギーホールをはじめ世界各国で国際親善の活動を続けている「広島ジュニアマリンバアンサンブル」の地元の子供たちによる歓迎アトラクションは、「イエローサブマリン」「YMCA」「下レミの歌」など、なじみの深い曲が次々と元気いっぱい演奏され、パワフルでリズムカルなマリンバの魅力と子供たちの生き生きとした躍動感あふれるパフォーマンスと緊張を感じさせない子供たちの笑顔が会場を思いっきり明るく盛り上げてくれました。



黒川伊保子氏プロフィール



黒川伊保子氏による記念講演

黒川伊保子氏による記念講演

(株)感性リサーチ代表取締役社長、人工知能研究者、感性アナリスト、随筆家、日本ネーミング協会理事、日本文藝家協会会員。AI分析の手法を用いて、世界初の語感分析法である「サブリミナル・インプレッション導出法」を開発し、マーケティングの世界に新境地を開拓した、感性分析の第一人者。感性研究からくりだされる男女脳のおかしさも哀しいすれ違いを描いた随筆や恋愛論、脳機能から見た子育て指前本、語感の秘密を紐解く著作も人気を博し、TVやラジオ、雑誌にもたびたび登場。アカデミックからビジネス、エンターテインメントまで、広く活躍している。主な著書に、「妻のトリセツ」「家族のトリセツ」などがある。



ロビーでは電子黒板の展示や書籍紹介も



全国からの参加者が行き交うロビー



会場受付の様子

より良好な人間関係を 築いていくための ヒントを ユーモアを交えて

全体会記念講演では、「妻のトリセツ」などを執筆された脳科学者の黒川伊保子氏による「心のトリセツ」「逃げ癖」を『意欲』に変える脳科学」と題して、脳のタイプの違いや動作の違いから子どもや家族を理解し、より良好な人間関係を築いていくためのヒントを、人工知能AIについての研究に長年取り組んでこられた中で見いだされたとのこと。

人間の脳について徹底的に研究されたそう、人間の脳には2種類があるということ。それは、「指先タイプ(プロセス型)」と「手のひらタイプ



全体会を支えた150名の運営スタッフ全員と大会役員が達成感と充実感の中、和やかに記念撮影



閉会あいさつをする宿南洋一副会長

（問題解決型）との2種類ですが、どのように見分けることができるのかというと、意外にも、ペットボトルの開け方で分かるということで、開栓するとき、無意識に「指だけの力で開けている」または「手のひらをつけて開けている」という違いで分かるようです。

脳の種類のどちらか片方だけでは偏りが出て、さまざまな場面での問題解決・対策に時間がかかってしまうため、2つの型で補っていくことが、さまざまな問題をスムーズに解決していくための一番よい方法だということです。

また「話し方」について、まずはじめに共感してから話すことにより、相手の脳が非常に気持ちよくなり会話がスムーズに進むとのこと。これを実行するには自分自身の忍耐がとても必要とのことでしたが、子育てにおいては非常に大切なことだと思います。

黒川さんのユーモアを交えた小気味よい語り口調で分かりやすく学ぶことができ、参加者を魅了する楽しい講演となりました。

中国ブロック研究大会では、次期開催地である山口県PTA協議会によるアピールが行われ「やまぐち大会」の成功を誓い合いました。

次期開催 やまぐち大会 中国ブロック「やまぐち大会」アピールと 第72回全国大会「川崎大会」への引き継ぎ



中国ブロック研究大会では、次期開催地である山口県PTA協議会によるアピールが行われ「やまぐち大会」の成功を誓い合いました。

次期、第72回全国大会開催地である神奈川県川崎市への引き継ぎとして、川崎市PTA連絡協議会会長で川崎大会の実行委員長を務める浦山利博氏に大会旗が手渡され、全国PTA会員を支援していくためのバトンが無事につなげることができました。



全体会運営責任者からひとこと

全体会では150名のスタッフが運営に携わっていますが、ほとんどの方が当日に初めて運営スタッフとしての役割を知り、運営に取り組んだということ、苦労することが多々ありました。

今後は、大会に携わった方々と次期開催に携われる方々との連絡会を開催するなどの交流をすることで、より円滑な運営を可能にできるのではと思います。

全国からたくさんの方々が子供たちのためにこの思いで集って来られている姿を見て、PTAの活動の重要性を肌で感じることもできました。

地域に留まらず、幅広くいろんな方々と連携することで、さまざまな情報を共有することにより、今後の素晴らしい活動につなげていければと思います。



全体会(広島グリーンアリーナ)運営責任者 広島県PTA連合会・副会長 立石 稔さん

広島県下8会場それぞれの研究課題に取り組んだ分科会

各分科会では、研究課題における専門家による基調講演と活動実践発表が行われ、その後にパネルディスカッションを実施することで、それぞれの課題に対する解決策を探る貴重な機会となりました。

第1分科会 / 家庭教育

子供の力を引き出す家庭教育のあり方
自己肯定感を高め、可能性にチャレンジする子供を育てるために

会場: 安芸府中生涯学習センター
認定こども園つばめホール(安芸郡府中町)
基調講演: 大日向雅美氏(恵泉女学園大学 学長)

講演内容

大日向先生は、1970年代から子育てに悩み揺れる母親たちと関わってきました。その経験から、「子供を育てるとは、1)子供を“人として”尊重すること、2)親と共に生きること、3)地域と共に生きることである」とし、上から手を差し伸べる「支援」ではなく、傾聴と理解(下に立って支える)の心で「寄り添う」ことの大切さを語られました。



第2分科会 / 学校教育

すべての子供たちの豊かな学びを実現するために
様々な要因から学校に適応できない子供たちへの対応

会場: 東広島芸術文化ホール
くら大ホール(東広島市)
基調講演: 小熊広宣氏(NPO法人全国不登校新聞社 事務局長)

講演内容

「不登校の子供の気持ち」から考える、周囲の大人にできること」と題し、小熊広宣氏が語られたのは、今の日本における不登校についての現状やその原因、不登校の気持ちや対策についての深い内容でした。子供は親に対して「助けて」のサインを必ず送っている、日頃からどんな些細な変化でもいいので子供のことを気にしてほしいと訴えられました。



第3分科会 / 地域連携

学校教育と地域の連携をどう進めていくか
子供の成長を地域と共に

会場: リーガロイヤルホテル広島4F
「ロイヤルホール」(広島市)
基調講演: 山川尚美氏(広島修道大学 教授)

講演内容

「地域とともにある学校 -シビックプライドによる架橋-」を演題に、コミュニティ・スクールにおいて、保護者の学校への意識や地域の学校への関与と参画を目指す中、保護者も先生方や活動の協力者と平等な立場で運営に参加し、そのつながりの中で仲間を増やしていくことが大切であると語られました。※シビックプライド=地域をよりよい場所にするために自分自身が関わっているという自負心



第4分科会 / 人権教育

子供のかけがえのない命と尊厳を守る
幸せに育つ子供の未来のために

会場: 広島ガーデンパレス2F「鳳凰の間」(広島市)
基調講演: 石川結貴氏(ジャーナリスト)

講演内容

「孤立と虐待のない街づくり ~傷つく子どもを支えるためにできること~」と題し、児童虐待をはじめとする子どもを取り巻く諸問題や、親が子どもを精神的に支配したり、親の期待に沿うように強制したりするような新しいタイプの虐待行為など、子どもたちを取り巻く環境が一層複雑化していることを知らされました。



第5分科会 / 広報活動

PTAの活性化を図る効果的な広報活動の在り方
思いや考えを的確に、効果的に伝えるために

会場: 福山ニューキャッスルホテル3F
「光輝の間」(福山市)
基調講演: 道佛一郎氏(株式会社インフレックス代表取締役)

講演内容

「思いや考えを伝えるための方法 ~結果を伴う広報活動のために~」と題し、道佛一郎氏が語られたのは、ご自身が広島ホームテレビに従事後、映像や印刷物などの制作を手掛ける会社を興された後、お子さんの学校のPTA役員として、広報に携わったことと、その経験から、人の心を引きつける伝え方について話されました。



第6分科会 / 防災教育

予期せぬ災害から大切な命を守るために
今、できること・考えておくべきこと

会場: 呉阪急ホテル4F「皇城の間」(呉市)
基調講演: あんどうりす氏(兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科博士課程、アウトドア防災ガイド)

講演内容

「学校で学ぶ知恵は、すべて防災で役立つ -親子で楽しく身につけ、地域を安全にする方法-」と題し、アウトドア防災ガイドのあんどうりす氏による基調講演は、常に私たちの身近で起こり得ることとして地域防災の重要性について、防災の知識を学ぶというよりは、日常での少しの工夫の積み重ねが防災教育につながるということを知られました。



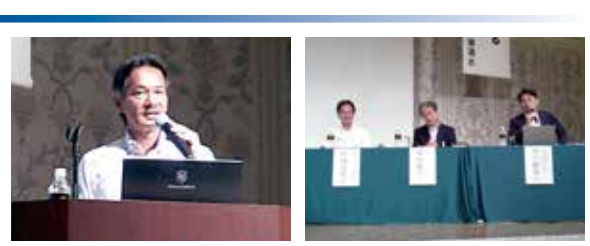
特別第1分科会 / 日本PTA担当

世界で活躍する人材を育てるために
これからの国際化に対応できる力とは

会場: リーガロイヤルホテル広島4F
「クリスタルホール」(広島市)
基調講演: 村岡啓道氏(独立行政法人国際協力機構中国センター 所長)

講演内容

「いつか世界を変える力になる ~求む!好奇心~」と題し、村岡啓道氏が講演されたのは「日本国内にもさまざまな課題がある中で、なぜ外国を支援しなければならないのか」という問いに対し、「人道的理由」「恩返しの側面」「共創」があるとし、国際貢献を担うJICAの実際の働きやその思いについて語られました。



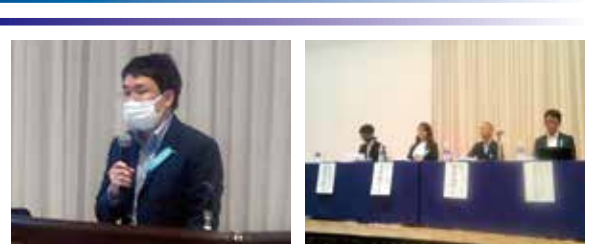
特別第2分科会 / 文部科学省協力

教育の情報化の推進
これからの情報化社会に生きる子供たちに必要なもの

会場: ホテルグランヴィア広島4F「悠久の間」(広島市)
基調講演: 塩田真吾氏(国立大学法人静岡大学教育学部 学校教育講座 准教授)

講演内容

「AI・ロボット時代を生き抜く情報活用能力をどう育むか ~家庭で「情報のリスクに対応する力」を育成するための3つのポイント~」と題し、塩田真吾氏が講演され、情報のリスクに対応する力を育成するポイントとして、1)さまざまなトラブルへの自覚を促す、2)リスクをグラデーションで考えさせる、3)時間管理に関する自律の力を育てる、という3点について語られました。



特別第1分科会
豊田・竹原PTA連合会
永福まどかさん

今回の全国大会が、私自身のPTA活動の集大成だと思って取り組ませていただきました。このような素晴らしい活動をしているのだから、もっと世間に広く知ってほしいと思います。周囲の人からは、あれもPTA、それもPTA、と言われる場面があり、あまりにもPTA活動の社会に対する貢献ぶりが、認知されていないことを残念に思っていますし、もったいないと感じています。私自身もPTA活動に携わることで、初めて知ることも多くありましたので、PTA活動の素晴らしさを広く知っていただきたいと思っています。

第6分科会
呉市PTA連合会
磯道忠男さん

オリジナリティーのある分科会を開催できればと思い、皆さんに喜んでいただけるよう、地元のマスコットキャラクターの着ぐるみ4体を準備していただき、参加者の皆さんをお迎えするようにしました。コロナ禍ということもあったため、今まで活動されていたコース同好会が活動中止になってしまったこともあり、楽しみにされていた方もおられるので、そのような活動が復活させることができればいいなと思っています。次期開催の川崎大会では1会場で開催されるとのことで楽しみにしています。

第3分科会
廿日市市PTA連合会
満井敦子さん

分科会を皆さんに楽しんでいただければという思いで取り組んできましたが、当初は不安もありましたが、「よし!分科会を成功させよう」とのスタッフの皆さんの思いが一つになり頑張れたと思っています。少子化が進む中で、子供たちの環境もさまざまとなり、PTAとしての取り組みも一県Pとしてだけでなく、日Pとして取り組むことで、より大きなことにも取り組めるようになると思います。PTA活動もやらされているというのではなく、自分自身が楽しみながらやることにより、得られることも多くあると感じていますし、大事なことだと思っています。

第2分科会
東広島市PTA連合会
柏崎恵さん

コロナ禍の影響もあり、皆さんとお会いする機会が少なかったため、同じ方向に向かって取り組むというベクトルを合わせていくのが大変でした。今、子供たちを取り巻く環境も変わってきていますので、私たちPTAとしても変わっていかねばならないと思っています。また、PTA活動において、このような勉強ができる場があるということを知ってほしいですし、日P、県Pの組織がどんな活動をしているのかを、もっと世の中に広く知ってほしいと思っています。

分科会運営担当者からひとこと言



川崎大会実行委員長
浦山 利博

ごあいさつ

第72回日本PTA全国研究大会川崎大会・第56回関東ブロック研究大会実行委員長の浦山利博と申します。子育て真っ盛りの空飛ぶドローンおじさんです。

本大会は、「ウェルビーイングの実現を、川崎の地から～活かそう『縁』の力～」を大会スローガンとしました。PTAの縁に改めて気付き、家庭・学校・地域の縁が織りなす道を通じて、より包括的な意味での幸せ、すなわち、ウェルビーイングを社会に広げることを目指しています。

私たちの活力の源は、何にもまして子供たちの笑顔です。子供たちの喜びもまた大人の笑顔でしょう。その原点に立ち返り、そこから皆様と共に、笑顔、ウェルビーイングを、広げて行きましょう。そして、子供たちが、生きる強い力と公德心とに満ち溢れ、将来、それぞれの方法で社会に羽ばたくことを願いつつ支えて参りましょう。

明日につなぐ学びと共感、愉快さ満載の企画で、皆様のお越しを心からお待ちしております。

次期開催予告

第72回日本PTA全国研究大会 川崎大会 第56回関東ブロック研究大会 川崎大会

開催日時 2024年8月23日(金)、24日(土)

会場 川崎市とどろきアリーナ

メインテーマ

- 社会の大きな変化を学び、進化を考えるPTA活動
- 自己肯定感を高め合い、活力あるPTA活動
- 誰も取り残さない、居場所を大切に作るPTA活動

大会スローガン ウェルビーイングの実現を、

川崎の地から

～活かそう「縁」の力～

聴いて、考え、話し合い
明日を変える2日間



4つの特徴

- ① スマートな学び
参加者全員が1会場に集結して1つのカリキュラムを学ぶ。
- ② アクティブラーニング
聞いて終わりではない。IT活用による意見交換やワークによって自分のアイデアを生み出そう。
- ③ 縁を感じ、縁を活かす
全国から集まるたくさんの仲間と学びや体験を共有するだけでなく、交流を通して縁をつむごう。
- ④ ウェルビーイングへの第一歩
ウェルビーイングを学ぶだけでなく、自分の生活に落とし込むアクションプランを各自でつくろう。

シンボルマーク

多様性と川崎市の7区を表すレインボーカラーと、縁でつながる参加者をパズルのピースに見立てて表現しました。



令和4年度推薦商品一覧表 [推薦期間: 令和4年4月1日～令和5年3月31日]

企業名	商品名
1 (株)マガジンハウス	漫画 君たちはどう生きるか
2 (株)学研プラス	学研まんががよくわかるシリーズ「食品トレーのみみつ」
3 (株)ノートライフロック	「ノート」シリーズ
4 ショウワノート(株)	ジャポニカ学習帳シリーズ(ジャポニカ、イラスト、宇宙、フレンド、キャラクター、福田)
5 エースチャイルド(株)	子どもセキュリティ「Fillii(フィリィ)」
6 アルプスシステムインテグレーション(株)	InterSafe(フィルタリング及び関連するフィルタリングサービスの提供)
7 (株)講談社ビーシー	まんが社会見学シリーズ16「大研究!こだわりと情熱!かちわり氷」
8 パナソニック(株)アプライアンス社	LED照明器具(LEDシーリングライト)(ペンダントライト)(LEDデスクスタンド)
9 (株)学研プラス	学研まんががよくわかるシリーズ「情報通信のみみつ」
10 デジタルアーツ(株)	i-フィルター/i-FILTER
11 トレンドマイクロ(株)	ウイルスバスターシリーズ(令和4年夏～冬発売予定新製品及びモバイル端末向け製品を含む)
12 (株)学研プラス	学研まんががよくわかるシリーズ「記念写真のみみつ」
13 (株)学研プラス	学研まんががよくわかるシリーズ「プレスと溶接のみみつ」
14 (株)学研プラス	学研まんががよくわかるシリーズ「カプセルトイのみみつ」
15 KDDI(株)	安心ウォッチャー/あんしんウォッチャーLE
16 NECプラットフォームズ(株)	「Atermシリーズ」こども安心ネットタイマー
17 (株)ミクシィ	みてねみまもりGPS
18 (株)Gakken	学研まんががよくわかるシリーズ「ハワイのみみつ」特別編
19 (株)キッズウェイ	MAMORY(MCF-PT02, MCF-NV02, MCF-ZM02)WHEATHER
20 ジブラルタ生命保険(株)	ベルマーク付生命保険
21 (株)Gakken	学研まんががよくわかるシリーズ「音楽の著作権のみみつ」
22 (株)Gakken	学研まんががよくわかるシリーズ「のどののみみつ」
23 (株)Gakken	学研まんががよくわかるシリーズ「住宅塗装のみみつ」
24 (株)Gakken	学研まんががよくわかるシリーズ「青少年赤十字のみみつ」
25 (株)Gakken	学研まんががよくわかるシリーズ「税金のみみつ」
26 BBソフトサービス(株)	まもサーチ3
27 (一社)家の光協会	月刊誌「ちゃぐりん」
28 理想科学工業(株)	スクリレ
29 クツワ(株)	学童用筆入
30 象印マホービン(株)	ステンレスクールボトル、ステンレスボトルステンレスマグ
31 (株)Gakken	学研まんががよくわかるシリーズ「税理士のみみつ」
32 (株)Gakken	学研まんががよくわかるシリーズ「電気を安全に使えるのみみつ」
33 (株)Gakken	学研まんががよくわかるシリーズ「グラスファイバーのみみつ」
34 (株)Gakken	学研まんががよくわかるシリーズ「漁業組合のみみつ」



公益社団法人日本PTA全国協議会 推薦商品について

児童・生徒等の学校教育、家庭生活上価値が高く、広く利用促進普及させることが適当と認められる事業または物品を、協賛し推薦する商品です。また認定された商品には、「推薦マーク」を使用することができます。

REGZA

「電子黒板」・「大型タブレット」・「大型モニター」の1台3役

卒業贈呈品としても ご検討ください。

4K 電子黒板

レグザキャンバス

NEW TD-E656TS



レグザくん

操作がかんたん

さまざまな環境で見やすい

ICT教育を普及促進



国内テレビメーカーのレグザだから安心!

電子黒板 機能

遅延なくスラスラ書き込めます



タッチパネル 機能

タッチパネルで画像の
拡大・縮小やPC接続で画面を
マウス代わりにペンで操作可能



ブラウザ 機能

ブラウザ接続で必要な情報を
大画面で共有できます



ミラリング 機能

ワイヤレス接続で、
PC・タブレット・スマホ画面を
レグザキャンバスへ投影可能



同時表示 機能

同時に最大4台の
ワイヤレス接続可能



地域創生応援団 特別セット



65V型4K
液晶モニター
<TD-E656TS>

前脚折りたたみ式
スタンド(特許取得)
<FFP-SCBS2-1>

防災用
ポータブル電源
<PowerRoam600(GS600)>

レグザキャンバスは 授業だけじゃない!!

防災対策として
一時避難所で
活用もできます

- レグザキャンバス1台で20ページのスクロール画面表示ができます。
- 印刷して表示する必要がありませんのでインク切れの心配もありません。
- 書き込み情報はデータ保存でき、その後の災害対策としても活用できます。

TVS REGZA株式会社 ビジネスソリューション部

お問い合わせはこちらへ

<https://www.regza.com/b2b/support/contact>

ご購入はこちらへ

販売代理店 一般社団法人 地域創生応援団

※説明写真および説明図はイメージです。